



2010年 第1回勉強会

**38歳にして我孫子市長になられた福嶋氏をお招きし
 事業仕分けと地方自治を勉強しました。**

日時 22年1月24日(日) 13時～16時30分

場所 松本市伊勢町Mウイング3の1号室・3の2号室

主催 福嶋先生に講演を聞く会実行委員会



先生の経歴:

38歳で我孫子市長になる。3期12年で市長を退任。

市民自治を理念とした自治体改革に取組み全国青年市長会会長。

現在中央学院大学教授、東洋大学大学院客員教授、東京財団上席研究員、著書に「市民自治の可能性」「公会計改革」など。政府の行政刷新会議ワーキンググループ民間評価者(事業仕分け人)。又、住民のあり方にも造詣の深い先生です。

開催日時	平成22年1月24日(土)	13時00分～16時30分	
開催場所	松本市Mウイング 3-1、3-2	参加者	80名
内容	当日の様子 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>↑当日は北原は、司会進行を仰せつかりました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>↑代表世話役は(社)松本青年会議所の上條直前理事長。</p> </div> </div>		



↑福嶋先生には約3時間のご講義を頂戴しました。特に市長時代の体験話は非常に感動しました。



↑今回の企画・運営をされた山崎松本市市議会議員。



↑放送大学同窓会長野の山田会長。
今回は放送大学様の全面協力で執り行われました。



↑会場は満員御礼。約100名の受講者で一杯になりました。

【感想】

1部を事業仕分けとは？2部を地方自治(地方分権)について、福嶋浩彦先生の講義を頂きました。

事業仕分けとは？では、事業仕分けの意義や、原則などから勉強しました。

国に事業(予算)を「見える化」

することの重要性や、事業(予算)の政府の説明責任などを話されました。特に過去密室で行われた

予算分配とは大きく異なり、国と市民の距離などを近づけるダイナミックさを感じることができました。

また自治体における事業仕分けの事例なども話しをされ、我が町松本は？と感じました。

2部の地方自治(地方分権)では、我孫子市(38歳から50歳までの12年:3



期)の経験から、
 政策を市民にチェックしてもらう機能や制度についてお教えいただきました。
 特に地方自治は、2元代表制(首長と議員とともに選挙で選ぶ)ことで、両者とも市民が行政をコントロールしていく上で、会話やある時は対立などで、まちづくりが可能であることを知りました。
 また、リコールや条例の直接性急・住民監査請求またある時は住民投票など、地方自治の方が、
 市民の権利の枠が広いことを知りました。
 議会の責任にも触れ、議員はしっかりと市民と語り情報交換をする必要があることを示唆されていました。

当日の
 チラシ

松本政経塾 1月勉強会

行政刷新会議 事業仕分け人 福嶋浩彦氏講演会



日時: 22年1月24日(日) 13時より
 場所: 松本市中央公民館(Mウイング)3-1, 3-2
 会費: 1,000円 定員: 100名(定員になり次第締め切ります。)

内容

福嶋先生は行政刷新会議事業仕分けの主要メンバーに参加された先生です。
 事業仕分けは国民の目、特に若者の目を政治に向けさせました。多くの国民にその方法は歓迎されたと思います。
 ところで事業仕分けとは??
 その実態とは??
 事業仕分けについて福嶋先生に聞いてみたいと思いませんか。

なお事業仕分けの講演終了後、放送大学長野学習センター(諏訪市)・同窓会主催で松嶋先生の講演会が行われます。タイトルは「政策転換に市民の目、参加の仕組みを」で新しい時代に開いた住民のあり方の学習をします。こちらは無料です。

パート1		パート2	
13時00分 ～14時30分	14時35分 ～16時00分	16時00分 ～16時30分	
事業仕分けとは	「政策転換に市民の目、参加の仕組みを」	放送大学大学院 修士生の発表	

講師

福嶋浩彦氏

中央学院大学教授
 前我孫子市長
 東京財団上席研究員



自己紹介
 一貫して市民自治を目指してきました。(市民の自発的活動)と(市民がコントロールする行政)による市民自治の普遍的な方向性を目指してまいりました。

地方分権の時代、自治体は今以上に、地域のことは地域で考え、自らの責任で決断していくことになり、今以上に、地域の民主主義を徹底させ、より一層、市民の意思に基づいて自治体を選挙することが求められています。

プロフィール
 1956年鳥取県生まれ。83年我孫子市議会議員。95年38歳で我孫子市長に当選。2007年1月までの連続3期12年務める。この間、全国青年市長会会長、福祉自治体ユニット代表幹事などを務める。市の補助金の市民審査、市職員採用での民間試験委員、電気型市民投票条例、コミュニティビジネスの育成、市民債による自然環境の保全、提案型公共サービス民営化など、市民自治を理念とした自治体経営に取り組んだ。現在は中央学院大学社会科学部専任教授、東京財団上席研究員、客員教授。著書に市民自治の可能性～NPOと行政我孫子市の秋～(『ぎよ』2005年)、『公民連携白書2007～2008』(共著、時事通信社・2007年)、『公開会談 改選～デジタル・ジョー』(『見える行政』をつくる) (共著、日本経済新聞社・2008年)。

東京財団ホームページより

主催 (パート1) 福嶋浩彦氏の講演を聞く会実行委員会(パート2) 放送大学長野学習センター(諏訪市)・同窓会
 福嶋先生に講演を聞く会実行委員会に松本政経塾も参加します。



松本政経塾

【松本政経塾について】

2008年設立。毎月約40名ほどが集まり、各種研究会・勉強会を開催しています。様々な要請により地方経済が苦境へ向かう中、コミュニティビジネスや、ケルビジネスの創出が止まらず、地域を活性化させる政策・種々の開拓活動の創出が必要になると考えます。松本政経塾において、地域経済の理念を学び、時代認識を深めた人材が、政治や経済、行政、街づくりなど様々な分野で地域の前進と繁栄に貢献してくれることを目指し活動し、地域の未来に大きな夢を描き、毎月松本政経塾を運営しています。

お申込 → <http://www.msjuku.com/> お問い合わせ → info@msjk.com

その他
 当日の
 様子